

教育部（2）

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート				作成日	令和元	年	6	月	5	日
事務事業名	家庭教育学級開設事業				事業類型	活動支援						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育グループ		記入者氏名	富山 覚志						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画対象事業					
	施策名		2 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名		3 地域や家庭の教育力の向上									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	教育基本法第10条2項					
		09	05	01	家庭教育学級開設事業							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要												
【全体概要】 家庭は、子どもの人格形成に関わるもっとも基本的な教育機能をもつ。そのため、保護者は、子どもの教育に対する責任を自覚し、家庭教育に関する正しい知識と理解を持つことが必要である。保護者自らが家庭のあり方、親としてのあり方について学習し、家庭の教育力の向上を図る。市立保育所、幼稚園、小中学校の保護者などを対象に、20学級を開設し、年間5回程度の学習(学級毎)、年1回の学園合同学習会、年3回の市合同学習会を開催する。 【学級内訳】・市立保育所1 幼稚園5 小学校9 中学校5						【業務内容】 ・学級開設の指導・合同学習会の企画、開催・運営補助金の交付に伴う事務						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
・市立保育所、幼稚園、小学校、中学校在学中の保護者			・市立保育所、幼稚園、小学校、中学校在学中の保護者			人	4548.	4442.	4355.	4370.	4370.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
・担当者及び学級長説明会 ・学校、幼稚園ごとに学級を設置 ・合同学習会の開催			説明会の開催回数			回	1.	1.	1.	1.	1.	
			開設した学級数			学級	20.	20.	16.	16.	16.	
			市合同学習会の開催回数			回	3.	3.	3.	3.	3.	
			学園合同学習会の開催回数			回	4.	5.	5.	5.	5.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
家庭での子どもへの教育及び親の在り方について学習することにより、親としての自覚をもち、家庭教育に関する正しい知識を習得してもらい、家庭の教育力の向上につなげる。			学級講座に参加した保護者の延べ人数			人	2445.	2915.	2700.	2500.	2500.	
			講座の開催回数			回	141.	146.	130.	130.	130.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
							0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移						単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,618	1,557	1,393	1,398	1,398	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	1,618	1,557	1,393	1,398	1,398	0	0	0	0	0
人件費計(B)	千円	4,040	3,970	3,970	3,970	3,970	0.65人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人	
投入量(A)+(B)	千円	5,658	5,527	5,363	5,368	5,368						
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			核家族化が広まり、親の子育てに対する不安をなくす必要が出てきた。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			教育基本法改正により「家庭教育」が新設され、親が家庭教育学級で学んだ知識や考え方を家庭でも行うことで、子供の親に対する見方、考え方、親と子供の接し方など、家庭教育の在り方について改善される方向にある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			学級生(特に企画担当者)から、事業計画を立てて実施することは大変だが、実施して振り返ると大変有意義であり、よい経験になったとの声を聞く。									

評価対象年度	平成30 年度	事務事業評価シート				作成日	令和元 年 6 月 4 日	点検日	年 月 日		
事務事業名	成人式開催事業				事業類型	式典の開催					
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育グループ		記入者氏名	須藤 かなみ					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画 対象事業				
	施策名		2 未来を担う青少年の健全育成を図る								
	基本事業名		2 健全育成の推進								
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 01	事業名 成人式開催事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 当該年の成人者及び市関係者が一堂に会し、成人式を開催し、成人者の門出を祝う。 【会場】 ・平成22年度まで センチュリー那珂 ・平成23年度まで 那珂市中央公民館 以降 那珂総合公園 ・令和元年度 那珂総合公園 1 現状把握の部(DOシート)					【業務内容】 当該年及び次年の成人者代表により実行委員会を組織して計画の検討や成人式の運営を行う。市は、実行委員会をサポートしながら、式典において門出を祝う。						
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
その年度に二十歳になる新成人			成人者数			人	557.	517.	520.	564.	520.
							0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
・実行委員の募集 ・実行委員会の開催 ・式典の開催			実行委員募集通知の発送 件数(次年度成人者も募集)			通	981.	984.	1084.	1000.	1000.
			実行委員会の開催数			回	7.	8.	8.	8.	8.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
新成人に社会人として自覚を持ってもらい、市民としてまちづくりに参加する意識を高める。			成人式に参加した割合			%	79.2	76.4	80.	80.	80.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移											
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,102	2,109	2,291	2,291	2,291	2,291	2,291	0	
	事業費計(A)	千円	2,102	2,109	2,291	2,291	2,291	2,291	2,291	0	
人件費計(B)	千円	2,345	0.55人	2,510	0.63人	2,510	0.63人	2,510	0.63人		
投入量(A)+(B)	千円	4,447	4,619	4,801	4,801	4,801	4,801	4,801			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		国民的な行事であり、成人の健やかな心身の成長と、社会人としての門出を祝福するため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		進学や就職等により市外へ転出する若者が多くなっているなか、将来に向けてまちの活力を維持するため、若い世代の定住を促す取り組みは重要である。 成人年齢は、2022年から18歳となる。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		市の財政状況を憂慮し、財源を使うことは一部の市民から反対意見がある一方、行政の成人式開催は当然という意見もある。また成人年齢引下げに伴い、成人式対象年齢について市の方向性は早めに周知という要望がある。									

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート				作成日	令和元	年	6	月	4	日
事務事業名	各種団体補助事業				事業類型	活動支援						
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		社会教育グループ		記入者氏名	須藤 かなみ						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり									
	施策名		2 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名		1 地域で育てる体制の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	01	事業名	各種団体補助事業		根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 社会教育の振興を図るため、各団体の自発的な活動を推進し、活動費を助成する。						【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民、社会教育団体	市の人口	人	55312.	55131.	54772.	53000.	52800.
	補助団体数	団体	3.	3.	2.	2.	2.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
補助金交付申請の受理、補助金の交付	申請書受理件数	件	3.	3.	2.	2.	2.
	補助金交付額(市文化協会)	千円	3865.	3865.	3865.	3865.	3865.
	補助金交付額(市PTA連絡協議会)	千円	610.	610.	610.	610.	610.
	補助金交付額(市幼稚園PTA連絡協議会)	千円	40.	40.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
文化協会及び会員の資質の向上による芸術文化の振興と市民の生涯学習の推進 単位PTA相互の連絡、協力によりPTA活動を充実させ、市教育の振興発展に寄与する	文化協会加入数	人	766.	710.	710.	710.	710.
	文化振興事業・講座・文化祭への参加者数	人	3352.	4060.	4000.	4000.	4000.
	市PTA連絡協議会事業数	事業	4.	4.	4.	4.	4.
	市幼稚園PTA連絡協議会事業数	事業	2.	2.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,515	4,515	4,475	4,475	4,475
	事業費計(A)	千円	4,515	4,515	4,475	4,475	4,475
	人件費計(B)	千円	1,875	1,853	1,853	1,853	1,853
		0.45人	0.44人	0.44人	0.44人	0.44人	
	投入量(A)+(B)	千円	6,390	6,368	6,328	6,328	6,328
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	文化に対する認識と創造性の啓発により文化の振興を図る。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	文化協会全体で高齢化が進んでいる。高齢化による会員減少を理由に、文化協会を脱退する団体もある。 幼稚園統合により、幼P連は廃止となった。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	文化協会について、会費が高い、法人化等の意見がある。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) <p>文化協会の新規加入者を獲得するため、文化祭での体験講座開催や、会員募集チラシの配布を行った。新規加入者は数名いたが、脱退者も多く全体の会員数としては減少傾向にある。</p>	(見直し内容に関する予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) </td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center; width: 80px;">0</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> (人件費) </td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) </td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> (人件費) </td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)																
(人件費)	0	千円)																
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)																
(人件費)	0	千円)																
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																		

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化協会は市民組織であるが、芸術文化の振興を図るために、市の関与は必要である。単位PTAの連絡、協力は教育振興を図るうえで重要であり、市の関与は必要である。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化協会は随時事業の見直しや検討を行い、文化祭の来場者数増加や新規会員の獲得を図っており、成果の向上余地はある。今後も地域で活動する団体や人材の発掘を行うとともに、市民により関心を持ってもらえるような企画運営を行う。
評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。文化協会は、芸術文化の振興に限らず、生きがいづくりや同じ趣味を持つ仲間づくりの場を提供するなど、生涯学習の推進のために必要な事業であり、廃止・休止すべきではないと考える。市P連は、会員の資質向上や教育の改善に関する事業など、児童生徒の健全育成のために必要な事業であり、廃止・休止すべきではないと考える。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化協会について、各種講座・文化祭・文化振興事業などの主要事業に係る諸経費について適切に補助しており、事業費削減の余地はない。人件費については、各部会への活動補助や運営指導などを適宜行っており、削減の余地はない。市P連については、研修や広報費などの主要事業に係る諸経費について適切に補助しており、削減の余地はない。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 文化協会について、各団体の活動は会費を徴収して運営しているとともに、文化振興事業ではチケット販売により入場料を徴収している。また、各種講座ではテキスト代など実費を徴収し、いずれも適切に処理しており、補助金額は適正だと考える。市P連について、活動費の一部を学級単位・学校単位で負担し、適切に処理しており、補助金額は適正だと考える。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果																							
文化協会について、会員募集チラシを作成し活動の周知を行うとともに、各種講座では初心者向け講座を行い、新規会員獲得に繋がるよう努める。文化祭では、より多くの市民に関心を持ってもらえるよう、体験講座や抽選会などの企画内容を工夫・充実させていく。		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下			×																					

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)

会員の減少や高齢化など組織存続の根幹に係る部分でもあり、各種の体験講座や発表会など、若年層が興味を持ち参加しやすい講座や機会を早急に整備し、会員増につなげていく必要がある。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	5	日	
事務事業名	青少年育成事業				事業類型	活動支援	点検日		年		月	
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	戸澤 英理香								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり										
	施策名	2 未来を担う青少年の健全育成を図る										
	基本事業名	2 健全育成の推進										
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	03	事業名	青少年育成事業	根拠法令	社会教育法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要												
【全体概要】 子ども会育成連合会等の育成支援。青少年育成関係団体事業の推進。主催事業(青少年の主張大会等)への助成と支援。						【業務内容】 年間計画に基づいた活動を実施する。また、県主催等の研修会へも積極的に参加し青少年健全育成活動の充実を図るとともに、団体の事務局として青少年の育成と啓発に努める。						

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市内在住の青少年	市内の青少年数(0～19歳)	人	9407.	9308.	9149.	9000.	8850.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
子ども会事業における表彰、講習会、研修会等の実施。大会や表彰式展の開催による青少年育成事業の推進。高校生会員の募集。	開催事業件数(大会や式典等)	件	7.	7.	7.	7.	7.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
青少年の健全育成にかかる団体が連携し、次代を担う青少年の健全育成を図る。	単位子ども会数(子ども会)	団体	56.	53.	41.	40.	40.
	青少年団体会員数	人	1253.	1196.	1069.	1000.	1000.
	青少年団体加入率(子ども会)	%	46.	44.	40.	46.	46.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	545	645	790	784	784
	事業費計(A)	千円	545	645	790	784	784
	人件費計(B)	千円	3,170	3,002	3,002	3,002	3,002
投入量(A)+(B)	千円	3,715	3,647	3,792	3,786	3,786	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	少子化・核家族化などにより子どもを取り巻く環境が悪化し、子どもたちの自主性を育てる活動支援や子ども会の脆弱化に伴い、子ども会会員相互の親睦や情報交換並びに地域リーダーの育成を図ることが急務となった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	子ども会の加入率は減少傾向にあるが、単位子ども会の再編により、子ども会存続および加入促進を目指す動きがある。市民会議事業は、事業内容が充実し、事業の趣旨に賛同する方たちが増え、高い評価を受けている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	保護者からは、子ども会事業に参加し、よい経験をした等の意見が寄せられている。また、役員の負担軽減のため、今の時代に合った青少年育成支援のあり方を検討すべきとの意見がある。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み						
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 子ども会加入促進を図るため、機関紙及び募集チラシ、ポスターを作成し、学校や市内コミュニティセンターに掲示配布、新入学児童説明会等に配布を継続して行った。また、市子ども会育成会役員マニュアルの継続配布と新たに総会資料作成見本等を役員へ配布を行い、負担軽減を図った。				
		(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 15px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円) (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 15px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 15px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円) (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 15px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	0	0	0
0						
0						
0						
0						

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 次代を担う子ども達の健全育成に、市が関わり推進することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？ 青少年団体へ加入の働きかけを行ってはいりますが、加入が年々減少している。子ども会役員の負担軽減等や機関紙発行、募集チラシ及びポスターを配布しているが、行事見直し等さらなる工夫が必要である。 子ども会再編の動きがある点については、役員負担の軽減という面で加入率増加の見込がある。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ 他に代わる事業がなく、青少年の健全育成の意義を考慮すれば廃止することは難しい。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 子ども会育成連合会や青少年育成那珂市民会議の会員で事業を行っており、市としては最低限の経費と事務量で実施しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 子ども会事業は、参加者費を徴収し、市民会議事業は、啓発事業なので、受益者負担を求めるものではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 青少年団体加入促進のため、募集方法や行事の見直し及び市子ども会育成会役員の負担軽減等を行うほか、役員会で加入減少の問題点の洗い出しを引き続き行い、改善策を検討する。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 児童数の減少に伴い子ども会の会員数も減少傾向であるが、会員の確保や円滑な活動運営の一助として、今年度実施した保護者(育成会員)用のマニュアル作成等、加入のネックとなっている保護者の負担軽減を図りながら、今後も活動支援を行っていく。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	4	日
事務事業名	ふるさと教室開設事業				事業類型	各種教室の開催					
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	小林 真由							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名	2 未来を担う青少年の健全育成を図る									
	基本事業名	2 健全育成の推進									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	03	事業名	ふるさと教室開設事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)										
事業概要 【全体概要】 市内小学生4・5・6年生を対象に、異年齢・異学校の子供たちが家庭では味わえない体験を通して、交流や仲間作りを行い社会性を養う。											
【業務内容】 様々な体験メニューによる教室を編成し運営する。											

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
小学校4～6年生	小学校4～6年生	人	1387.	1390.	900.	900.	900.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
創作活動や野外活動を取り入れた体験活動教室の開設	開催した教室の延べ回数(市内)	回	7.	8.	5.	5.	5.
	開催した教室の延べ回数(市外)	回	6.	6.	5.	5.	5.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
多くの体験を通して、郷土の歴史や自然について学ぶことにより、ふるさとを愛する心を育てる。また、学校や学年の違う友達との交流を通して社会性を養うことで、活力ある青少年を育てる。	教室に参加した延べ人数	人	385.	483.	400.	400.	400.
	教室に参加した実人数	人	94.	115.	70.	80.	80.
	教室に楽しく参加できた人数	人	39.	71.	42.	48.	48.
	友達と協力して参加できた人数	人	36.	57.	35.	40.	40.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	28	0	0	0	0
	一般財源	千円	476	647	864	864	864
	事業費計(A)	千円	504	647	864	864	864
人件費計(B)	千円	3,645	2,289	2,289	2,289	2,289	0.49人
投入量(A)+(B)	千円	4,149	2,936	3,153	3,153	3,153	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	子どもたちが日ごろできない体験学習の場を提供することにより、社会性に富んだ活力ある健全な青少年の育成が必要となったため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	交友関係は、同年代の割合が大きくなり、また疑似体験をはじめとした間接的な体験が多くなる一方で、生活体験や社会体験が不足し、人間関係を作る力が弱いなど社会性の不足が危惧され始めた。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	毎年申し込む子どもも多く、カリキュラム内容について、新規要望が寄せられている。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	企業で行っているプログラムや水戸生涯学習センター、おもしろ理科教室等で紹介されているプログラムを取り入れ、人件費の削減を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 16 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 体験を通して、郷土の歴史や自然について学ぶことや、学校や学年の違う友達との交流は、子どもたちの健全育成を担うことになり、市が行うことは妥当である。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 郷土愛をより育むための市内活動も取り入れながらも、定員の偏りが無いようにコース設定を検討する。
評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他に代わる事業はなく統廃合の余地はない。今後も子どもたちの健全育成のために有効な事業であるため廃止・休止はすべきでない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) プログラム内容や開催場所を検討し、事業の削減に努める。 高校生ボランティアも活用し、人件費を削減しているため、削減余地はない。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 講師謝礼及びバス移動を伴う教室のバス賃料は、市で負担しているが、その他の施設利用料、材料費並びに保険代費等は個人負担としている。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 企業で行っているプログラムや水戸生涯学習センター、おもしろ理科教室等で紹介されているプログラムを取り入れ、全体のコストを下げながらも魅力あるプログラムを実施できるように改善していく。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 異年齢での貴重な集団での体験学習など非常に人気の高い講座であるが、「ふるさと教室開催」には郷土愛の醸成も目的の一つとなっているので現在行っている市内イベント以外でも、さらなる地域資源の掘り起こしにより、「ふるさと那珂市」をより実感できる体験型イベントの企画を検討したい。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	5	日	
事務事業名	各種団体補助事業				事業類型	活動支援	点検日		年		月	
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	戸澤 英理香								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり										
	施策名	2 未来を担う青少年の健全育成を図る										
	基本事業名	2 健全育成の推進										
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	03	事業名	各種団体補助事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要												
【全体概要】 那珂市補助金等交付規則に基づき、青少年那珂市民会議および那珂市子ども会育成連合会に補助金を交付する。						【業務内容】 補助金の適正な活用が図れるよう管理し、スムーズな補助事務を行う。						

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
「青少年育成那珂市民会議」「那珂市子ども会育成連合会」	補助団体数	団体	2.	2.	2.	2.	2.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
事業補助金の補助申請の受付、補助金の交付	補助金交付額(青少年育成那珂市民会議)	千円	820.	820.	820.	820.	820.
	補助金交付額(市子ども会育成連合会)	千円	250.	250.	300.	300.	300.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
各青少年育成団体の活動を支援し、事業を通じて地域の青少年育成の推進とともに会員相互の連携の輪を広める。	開催事業数	回	7.	7.	7.	7.	7.
	単位子ども会数(子ども会)	団体	56.	53.	41.	40.	40.
	青少年団体会員数	人	1253.	1196.	1069.	1000.	1000.
	青少年団体加入率(子ども会)	%	46.	44.	40.	46.	46.
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,070	1,070	1,120	1,120	1,120
	事業費計(A)	千円	1,070	1,070	1,120	1,120	1,120
	人件費計(B)	千円	1,185	659	659	659	659
投入量(A)+(B)	千円	2,255	1,729	1,779	1,779	1,779	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	青少年育成団体が行う事業活動に対して自主性を尊重しつつ助成を行い、本市の青少年育成活動の一層の発展を図るため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	子ども会の加入率は減少傾向にあるが、単位子ども会の再編により、子ども会存続および加入促進を目指す動きがある。市民会議事業は、事業内容が充実し、事業の趣旨に賛同する方たちが増え、高い評価を受けている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	保護者からは、子ども会事業に参加し、よい経験をした等の意見が寄せられている。子ども会再編が進めば、役員の負担も減り、多くの人たちが子ども会活動に参加することができるという意見もある。						

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	4	日
事務事業名	コミュニティースクール推進事業				事業類型	事業の推進					
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課	社会教育グループ	記入者氏名	富山 覚志							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	1 豊かな心を育む学校教育の充実を図る									
	基本事業名	4 教育環境の整備と運営体制の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	01	目	03	事業名	コミュニティースクール推進事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成27年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 学校運営協議会は、教育委員会が学校や地域の実情に応じて設置し、地域の人々が学校と連携・協働して、保護者及び地域住民等の学校運営への参画または支援・協力の促進及び連携強化を図ることで、児童生徒の成長を支え、地域創生や教育課程を介して地域社会とつながる学校を目指す。						【業務内容】 白鳥学園において、学校運営協議会を設置し、学校、保護者、地域住民の参画を得て、社会総がかりで質の高い学校教育を実現するための環境整備を図る。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
瓜連小学校児童、瓜連中学校生徒、同保護者及び瓜連地区住民	瓜連地区人口(4.1)	人	8014.	8016.	7875.	7870.	7870.		
	瓜連小中学校児童生徒(5.1)	人	527.	518.	517.	510.	510.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
白鳥学園(瓜連小・中学校)において、学校運営協議会を設置し、学校、保護者、地域住民の参画を得て、社会総がかりで質の高い学校教育を実現するための環境整備を図る。	委員(小・中合計)	人	19.	19.	19.	19.	19.		
	協議会開催回数	回	4.	4.	4.	4.	4.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
・保護者、地域の思いや願いを生かした学校づくり ・郷土を愛し、将来の地域振興に貢献できる子どもの育成	関連行事数	事業	10.	9.	9.	9.	9.		
	家族や地域の人々の支えに感謝をした児童・生徒の割合	%	90.	94.	94.	94.	94.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2) 投入量の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内訳	国庫支出金	千円	51	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	148	107	208	208	208	0	
	事業費計(A)	千円	199	107	208	208	208	0	
人件費計(B)	千円	3,405	0.50人	4,397	0.67人	4,397	0.67人	4,397	0.67人
投入量(A)+(B)	千円	3,604	4,504	4,605	4,605	4,605			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	地域住民等の意見を効果的、効率的に反映させる学校づくりを行うため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	より良い学校づくりについて、学校、保護者、地域の連携がスムーズになり学校行事の充実が図られた。また、学校を中心として、地域活性化の気運が高まった。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	委員などからは、引き続きコミュニティースクールのより良い運営を行ってほしいとの意見が多く寄せられている。								

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) <p>学校に対する保護者や地域の理解が深まり、更に学校運営協議会の運営方法の調査研究を進めてきた。</p> (見直し内容に関する予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"><input checked="" type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">19</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 反映なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減 (事業費)	19	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 反映なし		
<input checked="" type="checkbox"/> 削減 (事業費)	19	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないですか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？ 	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国が推進する教育支援体制整備事業により実施している。学校運営等に対し、地域意見を取り入れるなど、地域との連携を緊密に図る目的があることから、市が主体となり事業を実施することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <ul style="list-style-type: none"> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？ 	<input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 学校に対する保護者や地域の理解が深まり、支援活動が活発化してきているが、学校運営協議会の取組を充実させるため、更に地域連携の強化を図りながら、課題等を検証して改善を図っていく。さらに複数校設置するには、各学校との調整やディレクターとなる人材の継続的な確保などの課題もあるため、今後は学校や地域の実情に応じた設置の調査・検証を行っていく。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない ■ 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 取組の充実に向けて研究を進めていく段階であるため、廃止・休止の余地はなく、類似する事業もないので、統廃合の余地はない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 <ul style="list-style-type: none"> ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は、最小限の委員謝礼と講師謝礼で、需用費も最小限の消耗品のみを計上している。人件費についても、最小限の人員で対応しており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <ul style="list-style-type: none"> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 学校運営に保護者や地域住民の参画を得て、質の高い学校教育を実現するための環境整備を図ることを目的とする事業であり、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 白鳥学園(瓜連小・中学校)は、コミュニティ・スクール校に指定されてから3年経過し、保護者や地域のかたが学校に対する理解が深まり、支援活動も活発化している。さらに複数校設置するには、各学校との調整やディレクターとなる人材の継続的な確保などの課題もあるため、今後は学校や地域の実情に応じた設置の調査・検証を行っていく。	改革・改善による期待成果																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 平成28年度に指定され3年目となるが、協議会委員及び地域の協力により活動は順調に推移している。今後は、地域人材の確保や予算面などいくつか見えてきた課題点を洗い出し、今後の円滑な運営に向け検証を継続していく。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	4	日
点検日					事業類型	事業の推進					
事務事業名	国民体育大会準備事業				事業類型	事業の推進					
担当部課G等	教育委員会 生涯学習課		国体推進室		記入者氏名	水野 厚子					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり								■ 実施計画 対象事業
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える								
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援								
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令					
		09	06	01	国民体育大会準備事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成28年度～令和元年度)				
事業概要											
【全体概要】 平成31年開催の第74回国民体育大会の成功に向け、おもてなしの心で本市ならではの特性と魅力ある大会の実現に努めるとともに、新たな活力とにぎわいを創出する大会を目指す。					【業務内容】 実行委員会開催(総会、常任委員会、総務企画・競技式典・輸送交通・宿泊衛生専門委員会) 先催都市の準備状況等調査・研究 関係機関及び競技団体との連絡調整 広報啓発活動の推進(マスコットキャラクターの活用、印刷物・メディア・イベントによる広報等) その他競技会の開催準備業務の推進						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)				
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
那珂市開催競技団体参加関係者、来訪者 市民		那珂市開催競技数	競技	2	2	2	0	0			
		市民	人	55312	55131	54772	0	0			
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
実行委員会に補助金を交付し、競技会運営の準備を進める。 各種イベントや広報等で国体をPRし、開催機運を高め、市民参加を促す。 馬術競技会場仮設施設を整備する。(全65カ所)		実行委員会等会議開催回数	回	6	11	5	0	0			
		イメージキャラクター出演PR	回	36	45	30	0	0			
		馬術競技会場整備に係る発注件数	件	0	1	1	0	0			
				0	0	0	0	0			
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
滞りなく競技会を開催する。(馬術・3B体操) 市民総参加で選手等を歓迎することにより、魅力ある大会を実現する。		ボランティア数	人	0	256	700	0	0			
		馬術競技会場整備率	%	0	0	100	0	0			
				0	0	0	0	0			
				0	0	0	0	0			
(2)投入量の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費			
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	49,500	0	0	420,300			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	8,465	451,241	45,736	0	0	249,178			
	事業費計(A)	千円	8,465	451,241	95,236	0	0	669,478			
人件費計(B)	千円	25,000	5,000	44,600	8,000	44,600	8,000	44,600	8,000		
投入量(A)+(B)	千円	33,465	495,841	139,836	44,600	44,600					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		第74回国民体育大会において、馬術競技と3B体操の開催地となった。那珂市をアピールする絶好の機会と捉え、市民総参加で大会の成功を目指すため事業を開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		平成30年度は、実行委員会関係の会議を8回開催し、開催に向けた要項等の整備を進めた。国体開催1年前となり、かなり認知されるようになった。ボランティアの参加意識も高まりつつある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		那珂市開催競技が何かということは認知されてきたが、どのようなことをする競技なのか認知されていない。									

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	国体ダンス巡回活動を市内小中幼稚園・保育園を行った。また、ポスターコンクールの募集や市内小中高校へ手づくりのぼり旗の制作協力を求めた。さらに、市内6カ所にカウンタウンボードを設置するなど、機運醸成に努めた。イベントへの出演も協力が得られやすくなり、国体への意識が強くなっていると感じた。	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないですか？ ●市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	国民体育大会開催基準要項において、各競技会については会場地市町村も主催団体となっており、那珂市開催の各競技会運営を行わなければならないため。	
有効性 評価	② 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 自主性によるボランティアの募集で、当初の予定より多くの登録があった。今後も市民参加型のイベントを催し、国体への意識を高めるとともに、団体等に協力依頼をかけたボランティアに登録してもらえるよう促す必要がある。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 日本スポーツ協会理事会において開催が決定されている事業であり、市に類似事業はないため、廃止・休止はできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 令和元年度開催と期限が決まっている事業のため、期限内に完了するには人件費の削減余地はない。また、簡素化を図り、創意工夫ある国体を目指しているが、那珂市開催競技の馬術は生き物を扱う唯一の特殊な競技で専門的な知識が必要なため、会場整備や運営に係る経費を削減する余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない スポーツの普及や那珂市の魅力を全国に発信する事業のため、観覧料等はない。競技会参加者については、馬術競技は、本大会に参加する選手団を派遣する都道府県体協が日スポ協に負担金を納入する。3B体操は、会員のみ納付し、馬術競技リハ大会は、主催者の市へ納入する。また、会場へ売店を出店する場合は、市への出店料が発生する。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)	国体に対する意識の強化を今後も高めていくため、市民参加型イベント(炬火名募集、炬火採火イベント、開催前イベント(乗馬体験))を実施しボランティア登録者を増やす。また、様々な集会に出向き、ボランティアへの協力を呼びかける。 機運醸成(横断幕の作製、商店街へ歓迎フラッグの設置) 競技団体、県、設営業者と連携し、競技会運営が滞りなく行えるよう、競技会場整備を行う。																					
改革・改善による期待成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			⊗	低下			⊗
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			⊗																		
	低下			⊗																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 国体周知、大会運営に向けた組織づくり、競技会場の整備等についてはほぼ予定どおり概ね順調に進捗していると思われる。開催年となる次年度は、関係団体との連携や関連イベントの開催など、大会の成功に向けて、より具体的な調整・事業を進めたい。																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																					
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																					

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	7	日
事務事業名	公民館施設管理事業				事業類型	施設の運営、維持管理					
担当部課G等	教育委員会 中央公民館	公民館G	記入者氏名	後藤 泰成							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名	3 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	02	事業名	公民館施設管理事業	根拠法令	社会教育法、那珂市公民館の設置及び管理等に関する条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 公民館施設及び設備の維持管理を行う。						【業務内容】 ・各種設備等に係る保守点検、清掃、修繕等、施設の維持管理委託業務。 ・燃料費、光熱水費の管理。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
中央公民館施設及び各種設備	施設数	件	1.	1.	1.	1.	1.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設維持管理業務、各種設備保守点検及び修繕を行う。	点検・検査・修繕の箇所数	件	28.	25.	30.	30.	30.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
中央公民館施設及び各種設備を適切な状態に保ち、市民に安心して利用してもらう。	点検・検査の実施率	%	100.	100.	100.	100.	100.
	苦情件数	件	0.	0.	0.	0.	0.
	利用者数	人	80341.	80852.	85000.	85000.	85000.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	2,000	1,629	1,600	1,600	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	94	130	145	145	145
	一般財源	千円	15,975	16,004	20,510	56,245	30,839
	事業費計(A)	千円	18,069	17,763	22,255	57,990	32,584
人件費計(B)	千円	5,690	5,785	5,785	5,785	5,785	1.45人
投入量(A)+(B)	千円	23,759	23,548	28,040	63,775	38,369	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	市民に生涯学習の場を提供することを目的として、昭和59年に中央公民館が開館した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設は経年劣化が進み、老朽化してきている。また、設備等も耐用年数を超えており、修理や修繕が欠かせない状態となっている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	利用者から集会ホールの照明が暗い、冷暖房が集中管理で部屋ごとの温度設定ができないため、「暑すぎる」「寒すぎる」等の意見がある。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(見直し内容に関する予算への反映) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">削減(事業費)</td> <td style="text-align: center; width: 50px;">0</td> <td style="padding: 2px;">千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="padding: 2px;">千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">増加(事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="padding: 2px;">千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="padding: 2px;">千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	削減(事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	増加(事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
削減(事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
増加(事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育法に基づき市が設置した公共施設である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要に応じて修理・修繕し、利用者が安心して使える施設管理をしてきたが、老朽化に対応した計画的な修理・修繕により、施設環境を維持し施設の長寿命化を図る余地がある。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似の事業はなく、施設を運用している限りは、適切な管理をしていかなければならない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最小限の修理・修繕で対応している。職員も必要最小限で管理している。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 規則の減免規定に基づいて減免している。しかし、受益者負担の公平性の観点から、望ましい負担の在り方について検討する余地がある。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 各種保守点検をもとに、公民館機能の在り方を含め、総体的な検討と精査を優先順位をつけ修繕を図る。また、長期修繕計画を策定したものについては、速やかに修繕する。減免については、令和元年5月に見直された「使用料・手数料等の見直し統一基準」に基づき利用者に公平な基準を検討し、運用の見直ししていく。																						
改革・改善による期待成果																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 公共施設の中では一番古く経年劣化が見られる施設であるので、早期に優先順位をつけた長期修繕計画を作成し、予算の平準化を図りながら整備を推進すべきである。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	7	日
事務事業名	学級講座開設事業				事業類型	各種教室の開催					
担当部課G等	教育委員会 中央公民館	公民館G	記入者氏名	後藤 泰成							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	3 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名	2 生涯学習活動の支援									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	02	事業名	学級講座開設事業	根拠法令	社会教育法 那珂市公民館規則
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 生涯学習のきっかけづくりとしての初心者向け各種教室の開催と、教室生(卒業生の団体等も含む)の発表の場としての公民館まつりを開催している。なお、公民館まつりでは、短期教室や映画会の開催もあわせて行っている。年度末に、学級の記録誌を発行している。						【業務内容】 ・学級講座の開設 ・公民館まつりの開催 ・映画会の開催 ・学習の成果記録としての記録誌「ふれあい文集」発行					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民(人口)及び市内在勤・在学者	対象者数	人	60000	59000	59000	59000	59000
			0	0	0	0	0
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
公民館講座募集案内の各戸配布及びお知らせ版、市ホームページを活用し、受講生募集を行い、講座や公民館まつり、映画会を開催する。年度末に「ふれあい文集」を発行する。	講座数	講座	20	17	18	18	18
	全講座の開催回数	回	187	163	170	170	170
	公民館まつり体験教室数	教室	15	16	16	16	16
	映画会開催数	回	1	1	1	1	1
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
生涯学習へ取り組む意欲を向上させるとともに成果の活用を図る。	受講完了者(7割以上出席者)の割合	%	80.4	90	90	90	90
	定員を超えた講座数	講座	9	8	8	8	8
	講座受講者数	人	363	332	350	350	350
	映画会来場者数	人	184	200	200	200	200
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,142	897	1,050	1,050	1,050
	一般財源	千円	729	575	1,022	959	959
	事業費計(A)	千円	1,871	1,472	2,072	2,009	2,009
人件費計(B)	千円	3,140	3,180	3,180	3,180	3,180	0.60人
投入量(A)+(B)	千円	5,011	4,652	5,252	5,189	5,189	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	社会教育法に基づく公民館が行う事業として、講座を開設した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近年、民間による趣味、知識や技術習得のための事業が多く行われるようになり、市民の選択肢が増えてきている。また、教室の内容等も多様化が求められている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	講座数の増や開催日等の調整。また、カリキュラム内容によっては、募集定員の増という要望の声も寄せられている。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 市民ニーズに応える講座を開設できるように、アンケートを実施しそれを踏まえた講座の見直し、新規講座の開設を行った。
		<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民に生涯学習の機会と場を提供し、絆つくりと活力あるコミュニティの形成を図る。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状とおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 多くの市民が受講希望する講座を企画立案し、自主講座への移行を支援する余地がある。
有効性評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会教育法に基づく公民館事業として講座を開設している。生涯学習のきっかけづくりとして実施している。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最小限度の事業費と人件費で行っている。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 講師料はほぼ受講料で賄っている。教材費は別途受講生の負担であり、託児代も一部負担してもらっているの、適正だと考える。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 受講生などからのアンケートをもとに講座内容を随時見直し、市民ニーズに応える講座を企画していく。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			⊗	低下			⊗
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			⊗																				
	低下			⊗																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 幅広い年代層が参加できるよう、講座内容の検討・企画を今後も進めていく。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	平成31年	3月	29日
事務事業名	スポーツ教室開設事業				事業類型	各種教室の開催		
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	小堀 隼冬				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画対象事業
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える						
	基本事業名	2 生涯スポーツ活動の支援						
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法	
		09	06	01	スポーツ教室開設事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 各種スポーツ教室の開催を通じて、子供から高齢者まで年齢性別を問わずスポーツに親しむ機会を提供し、楽しみながらスポーツを行うことで市民の健康増進に貢献する。					【業務内容】 スポーツ教室の企画、参加者募集、受付、教室開講事務、講師及び教室運営団体との契約等事務			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民	人口	人	55312.	55131.	53300.	53000.	52800.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
スケート教室・各種水泳教室・ヨガ教室・エアロビクス教室・ピラティス教室・ジュニアテニス教室を実施	延べ開催数	回	1013.	1010.	1013.	1013.	1013.	
	教室数	教室	33.	32.	33.	33.	33.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民に対し、スポーツをするきっかけの場、スポーツをする場としてスポーツ教室を提供しスポーツに対する意識の高揚を図ることにより、健康増進に貢献する。	延べ参加者数	人	23527.	22532.	28260.	28260.	28260.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	14,376	13,642	15,210	15,210	15,210	0
	一般財源	千円	2,317	3,308	2,503	2,422	2,422	0
	事業費計(A)	千円	16,693	16,950	17,713	17,632	17,632	0
人件費計(B)	千円	1,255	1,576	1,576	1,576	1,576	0.27人 0.34人 0.34人	
投入量(A)+(B)	千円	17,948	18,526	19,289	19,208	19,208		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	スポーツ基本法に基づき、市民の健康増進を図ることを目的としてスポーツの普及発展を行う。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	少子化及びテレビゲーム等の普及により、外で遊ぶ・スポーツをするという子供が減少してきている。その一方でニュースポーツ等のスポーツの多様化が進んでいる。高齢者は、健康志向としての参加が増加している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	継続して参加する方の中には教室のマナー化を指摘する方もいる。その一方で、水泳教室の一部では、定員を超える申込者があり抽選になってしまう教室もあり、定員や教室数を増やしてほしいという意見もある。							

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

<p>前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？</p>	<p>(前回最終評価)</p> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	<p>(前回評価結果を踏まえて見直した内容)</p> <p>施設の空き状況や、各教室の募集人数に対する応募状況を勘案し、一部の教室について教室数を見直した。今後も引き続き、状況を鑑みながら随時見直しを行っていく。</p>	<p>(見直し内容に関する予算への反映)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td>0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>(人件費)</td> <td>0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td>0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>(人件費)</td> <td>0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円																
(人件費)	0	千円																
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円																
(人件費)	0	千円																
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																		

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<p>目的 妥当性 評価</p> <p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p>■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>民間事業者が行っている教室もあるが、市のスポーツ振興施策として、スポーツをするきっかけづくりの教室を市が企画し、支援するのは妥当である。</p>
<p>有効性 評価</p> <p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>教室の参加状況やニーズを考慮し、新しい教室を実施する・教室の内容を変えるなどして、成果を上げる余地はある。</p>
<p>評価</p> <p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</p>	<p>■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>市の事業に類似事業はない。スポーツをするきっかけづくり、健康増進の役割を果たしているため、廃止・休止の可能性はない。</p>
<p>効率性 評価</p> <p>④ 事業費や人件費の削除余地</p> <p>●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p>■ 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>事業費は、指導者謝礼や教室委託料が大部分を占めているため削減は難しい。人件費についても最低限のスタッフで行っているため削減はできない。</p>
<p>公平性 評価</p> <p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p>■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>各教室受講者から指導者謝礼相応の受講料を徴収しているため受益者負担は適正である。</p>

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
引き続きアンケートでニーズや要望を把握し、受講者数なども考え教室内容の改善を図っていく。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下			×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
今後も受講希望者のニーズに沿った内容改善を図っていく。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	6	日
事務事業名	学校体育施設夜間開放事業				事業類型	施設の運営、維持管理					
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	小堀 隼冬							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える									
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	01	事業名	学校体育施設夜間開放事業	根拠法令	スポーツ基本法
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 地域住民の身近なスポーツをする体育施設の拠点として、小中学校の体育施設を地域のスポーツ団体への夜間開放する。 体育館 小学校11校・中学校5校・武道場5校 H30年度利用者 1,968人 利用団体 107団体						【業務内容】 小中学校・利用団体との調整・施設等の管理。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民、市内スポーツ団体			人口			人	55312.	55131.	53300.	53000.	52800.
							0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
市内小中学校の体育館・武道場の夜間開放			学校体育施設の開放校			学校	16.	16.	15.	15.	15.
							0.	0.	0.	0.	
							0.	0.	0.	0.	
							0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
地域の学校体育施設を夜間開放することにより、スポーツを通して地域住民の相互の親睦を図りながら体力作り、生涯スポーツを推進する。			利用団体数			団体	102.	107.	107.	107.	107.
			団体構成人数			人	1786.	1968.	1968.	1968.	1968.
							0.	0.	0.	0.	
							0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移					単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	697	527	929	929	929	929	929	0	
	事業費計(A)	千円	697	527	929	929	929	929	929	0	
人件費計(B)	千円	1,213	0.27人	1,253	0.27人	1,253	0.27人	1,253	0.27人		
投入量(A)+(B)	千円	1,910		1,780		2,182		2,182		2,182	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			昭和40年代の屋内運動場建設に伴い、地域住民のスポーツ・社会体育に対する関心や要求の高まりによるため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			夜間開放により学校体育施設を利用する団体が増加し、体育館の開放が飽和状態になりつつある。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			利用団体からは、毎月の利用申請の改善・簡素化等の要望がある一方、学校側からは、利用団体のマナーの悪さが指摘されている。								

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	申込方法については、施設利用を居住学区ごとに分けて平等に施設利用の機会を設ける等。施設利用料については、電気代のみでも徴収する等の改善について協議を進めているが、現状実行には至っていない。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0千円 (人件費) 0千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0千円 (人件費) 0千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価 有効性 評価 効率性 評価 公平性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市が所有・管理する施設であるので市が行うのは妥当である。
	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 利用団体は依然多く、新規団体の問い合わせも継続的にある。各施設の空きも少ないためこれ以上の団体受け入れによる成果の向上は期待できない。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がなく、廃止・休止すると地域住民のスポーツ推進・親睦・健康増進が図れない。
	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費については、体育施設の照明、運動用具等の消耗品費のため、削減すると団体の活動に支障が出るため削減できない。 人件費についても、必要最低限の職員で行っているためできない。
	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 夜間開放事業における施設利用は無料であるため飽和状態となっており、機会均等の面で課題があるとともに、有料施設利用者との公平性という部分でも適正化の余地がある。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 見直し(改革・改善) → 公平性の改善
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 既存団体で施設が埋まってしまい、なかなか利用できない状況にあるので、引き続き申込方法等を検討していく。
 また、施設利用料については公平性の観点から、どのような内容にするか引き続き検討していく。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			⊗
	低下			⊗

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 施設の利用方法については、既存の団体との調整を図りながら、有効な手段を検討の要あり。
 使用料(電気料)については、各施設の見直しとも併せて今後検討していく。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	平成31年	3月	29日
					点検日			
事務事業名	団体補助事業			事業類型	補助金			
担当部課G等	教育委員会	スポーツ推進室	スポーツ推進室体育G	記入者氏名	小堀 隼冬			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり			■ 実施計画対象事業		
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える					
	基本事業名		2 生涯スポーツ活動の支援					
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	スポーツ基本法	
		09	06	01	団体補助事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 市民の体力向上による健康増進を目的に、市内8地区のまちづくり委員会・加盟団体・専門部と連携して、各種大会及び関連事業を開催している市体育協会に財政的な支援を行う。					【業務内容】 各種大会、教室の受付・進行等の業務及び体育協会事務局の事務			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
那珂市体育協会加盟団体	加盟団体数(協会・連盟)	団体	18.	18.	18.	18.	18.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
市体育協会に補助金を交付する。 市体育協会事務を補助する。	補助金額	千円	6540.	6774.	7118.	7118.	7118.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民へ「誰でも・いつでも・どこでも」スポーツができる環境づくりをしてもらう。また、市民が暮らしのなかにスポーツを取り入れ、健康で楽しさにあふれた生活をおくることができる。	連盟登録人数	人	2473.	2469.	2469.	2469.	2469.	
	少年団登録人数	人	565.	561.	561.	561.	561.	
	大会等の開催回数(本部主催のみ)	回	19.	19.	19.	19.	19.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	6,540	6,774	7,118	7,118	7,118	0
	事業費計(A)	千円	6,540	6,774	7,118	7,118	7,118	0
人件費計(B)	千円	10,003	10,275	10,275	10,275	10,275	2,05人	
			2,05人	2,05人	2,05人	2,05人		
投入量(A)+(B)	千円	16,543	17,049	17,393	17,393	17,393		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	東京オリンピックを機会に体育協会設立の気運が高まり、体育協会の設立により、市民の健康増進が図られ、スポーツの振興とスポーツ団体の育成、各種競技団体の普及発展を目指して開始した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近年団体が減少に転じている。また、全体的には人数・構成団体数が減っている傾向にある。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設利用料の減免措置、補助金の増額、新規大会の開催等の要望が寄せられている。また、行革大綱により運営の自立化が求められている。							

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) <p>体育協会専属の事務員を雇い入れるなど、自主運営化について協議を行ったが、移行までに至っていないので、引き続き協議を行っていく。</p>															
		(見直し内容に関する予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) </td> <td style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> (人件費) </td> <td style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) </td> <td style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> (人件費) </td> <td style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 2px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 那珂市体育協会は、市のスポーツ振興の中心となって活動する団体であり、市民自らのスポーツ推進のため、行政の支援は必要である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <ul style="list-style-type: none"> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ 	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 現状行っている大会等において、体育協会事務局と加盟団体が連携し、大会内容について改善を図っていき、事業としての魅力を増やすことにより、団体活動の活性化を見込むなどできる。また、要望を考慮して新規大会を考えるなど、成果の向上余地はある。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。また、那珂市体育協会は市民の健康増進・スポーツ振興のために数多くの事業を展開しており、廃止することは市のスポーツ振興を阻害するとともに、市民の運動する機会を損失することとなる。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <ul style="list-style-type: none"> ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は主に大会等の運営費となり、事業費が削減されると参加等の負担増となる。それによって参加の敷居が高くなり、結果的にスポーツ推進・健康増進のマイナス要因となるので、削減は難しい。人件費の削減については、運営の自立化を図ることにより将来的には職員の関与を減らすことが可能となると見込まれ、削減の余地がある。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <ul style="list-style-type: none"> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない バスでの移動、宿泊を伴う事業等では、参加費を徴収して事業費に充てているため受益者負担の面で公平である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 事務局と加盟団体が連携し、市民にとってより良い事業を行っていくように各団体のヒアリングを行い運営状況等を指導している。 また、体育協会専属の事務員を雇い入れるなど、自主運営化について協議を行ったが、移行には至っていないので、引き続き協議を進める。																						
改革・改善による期待成果																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">削減</th> <th style="text-align: center;">維持</th> <th style="text-align: center;">増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</th> <th style="text-align: center;">向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">維持</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○	×	×	維持	×	×	×	低下	×	×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○	×	×																		
	維持	×	×	×																		
	低下	×	×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 市体育協会の自立化に向けては今後も協議を継続していく。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート				作成日	令和元	年	6	月	7	日
点検日						年						
事務事業名	体育施設管理事業				事業類型	施設の維持管理						
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		体育グループ		記入者氏名	生田目 千春						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり									
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える									
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	体育施設設置管理条例					
		09	06	03	体育施設管理事業							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 瓜連体育館、ふれあいの杜公園(多目的広場・芝生広場・テニスコート)、神崎テニスコート、神崎グラウンド、中谷原公園(テニスコート)、戸多グラウンド、戸多小体育館の維持管理事業。						【業務内容】 那珂総合公園以外の市内体育施設について維持管理する。 (ふれセンごだいの芝の管理も含む)						

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
建物、グラウンド、機械	建物	棟	4.	4.	4.	4.	4.	
	グラウンド、機械	箇所、台	6.	6.	6.	6.	6.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
施設の維持管理(保守、点検、修繕、整備)、緑化管理(除草等)	除草作業	回	2.	2.	2.	2.	2.	
	保守点検	回	3.	3.	3.	3.	3.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
維持管理、緑化管理を適切に行うことで施設環境を整備することにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことが出来る。	不具合発生	件	12.	9.	9.	9.	9.	
	修繕	件	12.	9.	9.	9.	9.	
	利用者	人	52958.	45958.	50000.	50000.	50000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,869	1,776	2,127	2,127	2,127	0
	一般財源	千円	13,503	6,915	9,395	9,395	9,395	0
	事業費計(A)	千円	15,372	8,691	11,522	11,522	11,522	0
人件費計(B)	千円	1,164	828	828	828	828	0.14人	0.14人
投入量(A)+(B)	千円	16,536	9,519	12,350	12,350	12,350		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ施設として那珂総合公園以外の市内体育施設が建設されたことから、施設の維持管理が始まった。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加傾向にある。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設の老朽化に伴い、施設の修繕や更新の意見要望がある。							

評価対象年度	平成30 年度	事務事業評価シート			作成日	令和元 年	6 月	7 日
事務事業名	総合公園管理事業				事業類型	施設の維持管理	点検日	年
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	生田目 千春				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える						
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実						
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 04	事業名 総合公園管理事業	根拠法令	都市公園条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 那珂総合公園の維持管理事業					【業務内容】 那珂総合公園について維持管理する。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
建物、グラウンド	建物	棟	1.	1.	1.	1.	1.
	グラウンド	箇所	2.	2.	2.	2.	2.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設の維持管理(保守、点検、修繕、整備)、緑化管理(除草等)	保守点検	本	19.	20.	19.	19.	20.
	緑化管理	本	5.	5.	5.	5.	5.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
維持管理、緑化管理を適切に行うことで施設環境を整備することにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことが出来る。	故障	件	28.	37.	37.	37.	37.
	修繕	件	28.	37.	37.	37.	37.
	利用者	人	178192.	177306.	178000.	178000.	178000.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	10,500	10,500	8,600	8,600	8,600
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	11,625	11,975	16,585	11,870	11,000
	一般財源	千円	125,107	131,139	142,831	142,885	145,282
	事業費計(A)	千円	147,232	153,614	168,016	163,355	164,882
人件費計(B)	千円	6,792	4,140	4,140	4,140	4,140	
		1.60人	0.93人	0.93人	0.93人	0.93人	
投入量(A)+(B)	千円	154,024	157,754	172,156	167,495	169,022	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として那珂総合公園が建設されたことから、施設の維持管理が始まった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加傾向にある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設の老朽化に伴い、施設の修繕や更新の意見要望がある。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	現状把握に努め、計画的に修繕を行った。	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<p>① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民がスポーツに親しみ健康に暮らせるように、市が主体となって維持管理事業を行うことは妥当である。
<p>② 成果の向上余地 ●当初の見直しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の老朽化のため、適切な修繕や対策を行うことで、事故を未然に防ぎ、より多くの市民に利用してもらえるような快適な施設環境の整備を引き続き行っていく。
<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市のスポーツ推進施設の拠点であり、他に代わる施設がないことから統廃合の余地はない。また、市民の健康づくりやスポーツの推進、スポーツにおける住民ニーズにこたえるためにも廃止・休止はできない。
<p>④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の省エネ化を進めていくことで事業費を削減できる。指定管理者制度の導入により事業費・人件費の削減余地はある。
<p>⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 公共施設の維持管理は、公平な受益者負担が原則であり、市の財源確保の観点からも使用料、減免規定の見直しを進める必要がある。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 施設の老朽化による、電気設備等で大規模な更新にあわせて省エネ化を進めていく。指定管理者制度の導入には、施設の老朽化が課題のひとつとなっているので、大規模な改修を前提として、導入を検討していく。使用料と減免規定の見直しについては、公平な受益者負担と財源確保の観点から見直しを進めていく。		改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持			×																			
	低下			×																			
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) アリーナ照明のLED導入により一定の省エネ効果は見られたが、今後も改修に併せた省エネ化を進めていく。指定管理者制度の導入についての検討も引き続き継続する。																							
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																							
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																							

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート				作成日	令和元	年	6	月	7	日
事務事業名	総合公園運営事業					事業類型	施設の運営					
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	生田目 千春								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業				
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える										
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実										
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	04	事業名	総合公園運営事業	根拠法令	都市公園条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 那珂総合公園の運営事業						【業務内容】 那珂総合公園の運営 (施設の予約、受付、使用料徴収、貸出等)						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
施設の利用者、市民、広域協定自治体の市民	那珂市の人口	人	55312.	55131.	54772.	53000.	52800.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
施設の利用者(個人・団体)に対し、予約、受付、使用料徴収、貸出等を行う。 貸出備品を適正に管理する。	電話・窓口による予約率	%	79.9	79.1	77.	77.	77.	
	パソコン等による予約率	%	20.1	20.9	23.	23.	23.	
	施設稼働率	%	81.9	82.7	82.	82.	82.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民が安全で快適にスポーツを楽しむことにより、生きがいをもち健康に暮らせるようになる。	施設利用者	人	178192.	177306.	178000.	178000.	178000.	
	うちプール利用者	人	40757.	41624.	41000.	41000.	41000.	
	日頃からスポーツに取り組んでいる人の割合	%	45.8	45.5	45.5	45.5	45.5	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内訳 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	16,718	7,525	7,883	7,863	7,766	0
	事業費計(A)	千円	16,718	7,525	7,883	7,863	7,766	0
	人件費計(B)	千円	1,164	828	828	828	828	0.14人
投入量(A)+(B)	千円	17,882	8,353	8,711	8,691	8,594		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	市民の健康づくりとスポーツの推進を目的に、スポーツ・レクリエーションの拠点施設として那珂総合公園が建設されたことから、施設の運営が始まった。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近隣市町村に同様の施設が建設されている中、安定した利用者数で推移している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	施設の老朽化に伴い、修繕や更新の意見要望がある。							

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 備品の現状把握に努め、適切な修繕、更新を行った。 (見直し内容に関する予算への反映) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民がスポーツに親しみ健康に暮らせるように、市が主体となって運営事業を行うことは妥当である。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 貸出備品について、修繕や更新を行っており、おおむね成果が得られている。
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市のスポーツ推進の拠点施設であり、他に代わる施設もないことから統廃合の余地はない。また、市民の健康づくりやスポーツ推進、スポーツにおける住民ニーズに応えるためにも廃止・休止はできない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 指定管理者制度の導入により、事業費、人件費の削減余地はあるが、設備の大規模改修を前提として検討していく。事業費については、施設の予約方法の見直しすることで、パソコンによる予約率が増加すれば、削減余地がある。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 公共施設の運営は、公平な受益者負担が原則であり、市の財源確保の観点からも、使用料と減免規定の見直しについて進める必要がある。

3 計画の部(PLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 備品類について、引き続き、計画的に修繕、更新を行っていく。指定管理者制度の導入については、施設の大規模改修を前提として検討していく。施設の予約方法については、パソコンによる予約率が高い自治体の方法を調査していく。使用料と減免規定の見直しについては、公平な受益者負担と財源確保の観点から見直しを進めていく。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	×	×	低下	×	×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○	×	×																		
	低下	×	×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 定期利用者が安定的に使用できるためにも、適切な備品等の更新は必要である。使用料についても、財源確保の観点から見直しは必要と考える。																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	7	日
事務事業名	総合公園施設改修事業				事業類型	施設の整備改修					
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	体育グループ	記入者氏名	生田目 千春							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える									
	基本事業名	1 スポーツ環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	06	目	04	事業名	総合公園施設改修事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 総合公園を大規模な改修等により整備することで、施設利用者の拡大やスポーツ環境の充実を図る。						【業務内容】 那珂総合公園について改修する。 平成30年度 アリーナ照明LED化改修工事 平成31年度 令和2年度 総合公園セーフティーウォール改修、スポーツホール非常灯修繕 令和3年度 ボイラー更新 令和4年度 アリーナ床改修、冷温水発生器更新					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
総合公園内施設	総合公園内施設		1.	1.	1.	1.	1.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
総合公園の維持管理のため、改修を行う。	改修が必要な施設・設備		12.	12.	11.	11.	9.
	H30 アリーナ照明器具交換工事	箇所	0.	1.	0.	0.	0.
	R2 総合公園セーフティーウォール外1件	箇所	0.	0.	0.	2.	0.
	R3 ボイラー更新工事	箇所	0.	0.	0.	0.	1.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
修繕と整備を行うことで施設の長寿命化を図る。	改修が完了した施設・設備		0.	1.	1.	3.	4.
	H30 アリーナ照明器具交換工事	箇所	0.	1.	0.	0.	0.
	R2 総合公園セーフティーウォール外1件	箇所	0.	0.	0.	2.	0.
	R3 ボイラー更新工事	箇所	0.	0.	0.	0.	1.
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	22,000	0	16,777	0
	一般財源	千円	0	86	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	22,086	0	16,777	0
人件費計(B)	千円	0	0.00人	2,484	0.64人	2,484	0.64人
投入量(A)+(B)	千円	0	24,570	2,484	19,261	2,484	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	総合公園を維持管理していくうえで改修が必要なため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設の老朽化に伴い、設備等の大規模な改修が必要となってきている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	利用団体等から修繕してほしいと要望が寄せられている。						

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート				作成日	令和元	年	6	月	7	日
事務事業名	体育施設整備事業				事業類型	施設の整備改修						
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室		体育グループ		記入者氏名	生田目 千春						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり				■ 実施計画対象事業					
	施策名		4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える									
	基本事業名		1 スポーツ環境の充実									
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令						
		09	06	03	体育施設整備事業							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成30年度～令和4年度)				
事業概要												
【全体概要】 瓜連体育館、ふれあいの杜公園(多目的広場・芝生広場・テニスコート)、神崎テニスコート、神崎グラウンド、中谷原公園(テニスコート)、戸多グラウンドの整備事業						【業務内容】 那珂総合公園以外の体育施設について整備(改修)をする。 平成30年度 瓜連体育館耐震補強工事 令和2年度 瓜連体育館長寿命化改修工事 令和2年度 ふれあいの杜公園テニスコート改修工事 令和4年度 神崎テニスコート改修工事						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)				
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)										
那珂総合公園以外の市内体育施設	管理している体育施設数	箇所	8.	8.	9.	9.	9.				
	大規模な改修が必要な施設	箇所	3.	3.	3.	3.	1.				
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)										
老朽化・経年劣化等による危険箇所を改修する。	改修整備を行う施設		0.	1.	0.	2.	0.				
	H30 瓜連体育館(耐震化工事)	箇所	0.	1.	0.	0.	0.				
	R2 瓜連体育館(大規模改修)	箇所	0.	0.	0.	1.	0.				
	R2 ふれあいの杜公園テニスコート改修	箇所	0.	0.	0.	1.	0.				
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)										
改修整備を行うことで、安全に使用できる施設とする。	改修整備の完了した施設		0.	1.	1.	3.	3.				
	H30 瓜連体育館(耐震化工事)	箇所	0.	1.	1.	1.	1.				
	R2 瓜連体育館(大規模改修)	箇所	0.	0.	0.	1.	1.				
	R2 ふれあいの杜公園テニスコート改修	箇所	0.	0.	0.	1.	1.				
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費				
事業内訳	国庫支出金	千円	0	10,030	0	0	0	10,030			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	19,500	0	121,500	0	141,000			
	その他	千円	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	0	1,553	0	66,680	0	113,985			
	事業費計(A)	千円	0	31,083	0	188,180	0	265,015			
人件費計(B)	千円	0	0.00人	828	0.14人	0	0.00人	828	0.14人	0	0.00人
投入量(A)+(B)	千円	0	31,911	0	189,008	0					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ	瓜連体育館 / 耐震診断調査の結果に基づく補強と一般改修を行うものである。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加傾向にある。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	瓜連体育館 / 市内団体を中心に、利用者の運動の場として貴重な施設となっている。										

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元 年 6 月 7 日	点検日	令和元 年 5 月 8 日		
事務事業名	かわまちづくり支援制度活用事業			事業類型	工事					
担当部課G等	教育委員会 スポーツ推進室	体育G		記入者氏名	坂本 博之					
総合計画体系	施策の大綱(施策名) 第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり			■ 実施計画対象事業						
	施策名 4 スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える									
	基本事業名 1 スポーツ環境の充実									
予算科目	一般会計	款 09	項 06	目 03	事業名 かわまちづくり支援制度活用事業	根拠法令	河川法			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成29年度～令和3年度)				
事業概要										
【全体概要】 那珂西大橋下流の那珂川河川敷有効活用に当たり、消防訓練等防災施設として、また屋外スポーツの場としてのグラウンドを兼ねた多目的広場及び駐車場を整備し、同時に環境学習の場としてワンド等の整備を行うことにより、地区及び市全体の活性化を図る場を設ける。河川区域の整備となり、整備に当たり、地域等の活性化を目指し利用計画等を盛り込んだ「かわまちづくり計画」を国(常陸河川国道事務所)へ提出し、事業登録されることにより、基盤整正等の工事については国で実施し、表面整備を市が実施することで、市の負担を大幅に軽減できる制度となっている。かわまちづくり支援制度へ平成28年度末に登録され、平成29年度から実施設計、平成31年度から工事を行い、平成34年度から供用開始となる予定である。				【業務内容】 平成28年度に国へ計画申請するにあたり設置した、計画策定のための協議会で、整備及び運営について協議を行っていく。整備はグラウンドや消防訓練場を兼ねた多目的広場、環境教育の場のワンド、駐車場等を考えているが、計画策定の中で協議により決めていく。また、計画に沿って設計を行い、国と連携して市担当分の工事を行っていく。						
1 現状把握の部(DOシート)										
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び戸多地区の市民				人口	人	53976.	53795.	53436.	53000.	53000.
				戸多地区人口	人	1691.	1651.	1609.	1600.	1600.
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
令和元年4月からの供用開始に向け、関係者の意見を取りまとめ整備すべき内容を決定する。整備に向け設計・工事等を行う。				ワークショップ開催数	回	1.	1.	1.	1.	1.
				整備に係る委託・工事発注数	件	0.	2.	1.	1.	1.
						0.	0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
地域の屋外スポーツの拠点となる場を整備し、提供することにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができる。						0.	0.	0.	0.	0.
				市整備率	%	0.	0.	40.	80.	100.
				国整備率		0.	33.	100.	100.	100.
						0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移				単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	37,500	41,700	9,600	91,000		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	386	10,275	18,981	11,267	7,468	31,000		
	事業費計(A)	千円	386	10,275	56,481	52,967	17,068	122,000		
人件費計(B)	千円	720	0.10人	720	0.10人	0	0.10人	0	0.10人	
投入量(A)+(B)	千円	1,106	10,995	56,481	52,967	17,068				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ				屋外スポーツ団体から、現状で練習や大会開催のための場所確保が困難となっていることから、グラウンドとして使える広場を作って欲しいと要望があり、河川敷での運用を検討し進めてきた。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)				スポーツ団体のほかに、地元地区である戸多地区住民団体からもイベント等に使いたい要望がある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)				屋外スポーツ団体から、多目的広場(芝貼り予定)でのスポーツ(練習や大会)ができるように要望されている。整備後の管理について、過大な負担とならないよう考慮すべきとの意見がある。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
<p>前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？</p>	<p>(前回最終評価)</p> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	<p>(見直し内容に関する予算への反映)</p> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr><tr><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr><tr><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr><tr><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td></tr><tr><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0										
千円										
0										
千円										
0										
千円										
0										
千円										

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>国・市・住民での協働事業であり、市施工分について及び竣工後の利用促進に関わる部分は市で実施する必要がある。</p>
<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>現有の体育施設の利用状況と、新たな体育施設の利用見込みとを勘案して、十分に利用頻度が高いと見込めるので、効果が高いと考えられる。市民とともに考えて目的に資する有効な施設として整備する必要がある。国工事が平成30年度から開始したことから、連携を取り令和元年度から市も順次工事を発注していく。管理についても十分検討しておく必要がある。</p>
<p>③ 類似事業との統廃合余地</p> <p>廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>地域等の活性化を目指す那珂川河川敷の整備は、「かわまちづくり計画」が国に事業登録されたことに伴うものであり、廃止・休止はできない。</p>
<p>④ 事業費や人件費の削除余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>事業費及び人件費については、事業計画に基づく必要な整備内容で見込んでおり、現時点での必要最低限の経費の計上となっている。効率的な整備を検討していく。</p>
<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>地域の活性化を目指す、不特定多数の利用者を想定した施設の整備となるため、受益者負担を求める事業ではない。</p>

3 計画の部(PPLAN)

<p>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)</p> <p>改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 詳細設計が完了したことから、国の工事が開始されたことから、国と連携して市の工事を必要に応じて順次発注し進める。</p>	※担当課長、グループ長、担当者が記載																			
改革・改善による期待成果																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下			×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持			×																	
低下			×																	

<p>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)</p> <p>改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)</p> <p>戸多地区活性化につながる地域振興事業であり、今後も経費削減に努めながら、国と連携し事業を進めていく。</p>	※担当部長が記載
--	----------

<p>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)</p>

<p>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)</p>
--

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	6	日
事務事業名	歴史民俗資料館管理事業				事業類型	施設の維持管理					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護・保存と活用									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	04	事業名	歴史民俗資料館管理事業	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】 ・歴史民俗資料館施設機能の運営及び維持管理・文化財及び市に関する歴史資料を収集・保管及び展示し、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図る。・文化財等資産を様々な角度から体系的に紹介する。						【業務内容】 ・施設管理・市内文化財等の資料の整備・保存を図り、様々な角度から体系的に展示及び公開をする。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
歴史民俗資料館設備、資料	文化財資料数	点	1564.	1632.	1640.	1650.	1660.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
歴史民俗資料館施設の維持管理及び文化財資料・民俗資料の保存管理を適切に行なう。	燻蒸回数	回	1.	1.	1.	1.	1.	
	空調保守点検回数	回	2.	2.	2.	2.	2.	
	消防設備保守点検回数	回	2.	2.	2.	2.	2.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
開館予定日数を休まず開館する。破棄する資料をださないようにする。	開館日数	日	302.	304.	304.	304.	304.	
	破棄資料数	点	0.	0.	0.	0.	0.	
	施設に対する苦情件数	件	0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,343	1,371	1,550	1,550	1,550	0
	事業費計(A)	千円	1,343	1,371	1,550	1,550	1,550	0
人件費計(B)	千円	2,861	3,972	3,972	3,972	3,972	0.74人	
			0.56人	0.74人	0.74人	0.74人		
投入量(A)+(B)	千円	4,204	5,343	5,522	5,522	5,522		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6年から開館した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	入館者はここ数年横ばいであるが、今後も入館者の増加に繋がられるように適切に施設と資料を維持・保存管理していく。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	常設展示の変化が足りない。もっと充実して欲しい。常設展以外に季節展や特別展の充実に向けてほしい。							

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	6	日
事務事業名	歴史民俗資料館運営事業				事業類型	施設の運営					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護・保存と活用									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	04	事業名	歴史民俗資料館運営事業	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)										
事業概要											
【全体概要】						【業務内容】					
・歴史民俗資料館施設機能の運営及び維持管理 ・文化財及び市に関する歴史資料を収集 ・保管及び展示し、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図る。 ・文化財等資産を様々な角度から体系的に紹介する。						・施設管理・市内文化財等の資料の整備・保存を図り、様々な角度から体系的に展示及び公開をする。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
全市民	市民	人	53976.	53795.	53300.	53000.	52800.	
	文化財史資料	点	1564.	1632.	1640.	1650.	1660.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
市内文化財資料史の収集・展示公開 展示室機器等の修繕	開館日数	日	302.	304.	304.	304.	304.	
	常設展の資料点数	件	170.	170.	170.	170.	170.	
	年間資料収集数	件	30.	68.	70.	70.	70.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市民に市の歴史、文化資産を知ってもらう。	入館者数	人	15677.	14373.	15000.	15000.	15000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	500	500	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,664	7,511	8,252	8,252	8,252	0
	事業費計(A)	千円	8,164	8,011	8,252	8,252	8,252	0
人件費計(B)	千円	3,600	2,760	2,760	2,760	2,760		
			0.62人	0.45人	0.45人	0.45人		
投入量(A)+(B)	千円	11,764	10,771	11,012	11,012	11,012		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	文化財及び市に関する歴史資料を収集、保管及び展示し、その活用を図り、郷土の歴史と文化に対する市民の教養と理解を深め、もって市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、平成6年から開館した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか) 開始時期と比べてどう変わりましたか?	開館以来入館者は増加しており、今後も入館者の増加に繋がられるように資料を収集・管理していく。施設の経年に伴い、施設設備等の修繕増加が見込まれる。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	常設展示の変化が足りない。もっと充実して欲しい。展示における市民参加の必要性等の声がある。資料館までの標識、案内板等の設置及び公共交通機関の整備の要望がある。							

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	31	日	
事務事業名	特別展開催事業				事業類型	活動支援	点検日		年		月	
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	中嶋 圭子								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり										
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る										
	基本事業名	2 伝統文化の継承と活用										
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例					
		09	05	04	特別展開催事業							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)						
事業概要												
【全体概要】 ・歴史民俗資料館多目的ホールにおいて、特別企画展、収蔵品展等を開催する。・来館者数の増大を図り、先人が残した文化遺産に対する見聞を広め、文化財保護の意識を高める。						【業務内容】 ・テーマに沿った資料展示を行う。・展示期間中に展示講演会、または展示解説会を開催する。・歴史講演会を開催する。						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)			
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
市民	那珂市の人口	人	53976.	53795.	53300.	53000.	52800.			
			0.	0.	0.	0.	0.			
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
特別展を企画し開催する。 <平成30年度実績> ・特別企画展「思い出の茨城国体」・明治150年記念展示「那珂市域の文化人」 ・季節展「端午の節句展」・「正月飾り展」・「雛人形展」	企画展等催し物開催回数	回	5.	5.	5.	5.	5.			
	講演会実施回数	回	6.	5.	3.	3.	3.			
			0.	0.	0.	0.	0.			
			0.	0.	0.	0.	0.			
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
市民が文化財に接する機会を増やすことにより、文化財に対する関心や興味を高め、文化財保護意識の高揚を図る。	入館者数	人	15677.	14373.	15000.	15000.	15000.			
	文化財等が活用されていると思う市民の割合	%	53.19	41.92	50.	70.	75.			
			0.	0.	0.	0.	0.			
			0.	0.	0.	0.	0.			
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費			
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0			
	その他	千円	100	0	0	0	0			
	一般財源	千円	535	937	3,591	862	862			
	事業費計(A)	千円	635	937	3,591	862	862			
人件費計(B)	千円	5,700	3,693	3,693	3,693	3,693	0.88人	0.67人	0.67人	0.67人
投入量(A)+(B)	千円	6,335	4,630	7,284	4,555	4,555				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ	資料館施設及び収蔵資料を有効活用し、市民の歴史文化への関心を高めることを目的として開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・特別企画展が広く市民に浸透し、年間入館者数が15,000人前後となっている。 ・年に2度以上来館するリピーターや、次回開催企画展案内の希望者が増えている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・来館者アンケートにより、継続的に企画展開催を希望する意見が多く寄せられている。・市中心部より離れているため、交通の便の悪さや公園内の案内看板の不備を指摘する声が多く寄せられている。									

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p>■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>市民の歴史文化への関心を高めることは、市の文化レベルの向上につながる。『豊かな心と文化を育む教育のまちづくり』を掲げる那珂市にとって、企画展をとおして文化財を周知し、次世代へ継承することは義務である。文化財は、大切な財産であり、公共の立場でそれを守り伝えることが妥当であるとする。</p>
<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっているか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>今後も市民や来館者の要望に答え、ニーズに合った展示を行い来館者の増加を見込むことができる。環境の整備(展示ケースの充実など)も計画的に行い、より内容の濃い展示を目指す。</p>
<p>③ 類似事業との統廃合余地</p> <p>廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p>■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>歴史資料を扱うという、特異な性質上、類似事業は考えられない。また、企画展が生涯学習や学校教育において学習支援活動にもなっているため、欠かすことのできない事業である。</p>
<p>④ 事業費や人件費の削除余地</p> <p>●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p>■ 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>事業費はこれまでも最低限の予算で行っており、これ以上の予算削減は企画展の存続が困難となる。人件費に関しては、最低限の職員で事業にあたっている。また、資・史料を扱うため、経験と知識が必要となる。そのため、アウトソーシングでの事業遂行は困難である。</p>
<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>空調設備や展示用固定ケース等の設備の不足により、展示できる資料に限りがあり、入場料を徴収できる内容の展示には達していないため。</p>

3 計画の部(PPLAN)

<p>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合</p> <p>■ 継続 → ■ 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 ■ 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 公平性の改善</p> <p>□ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)</p>	<p>改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)</p> <p>段階的にケースなどの展示什器の充実を図り、展示環境の改善を図る。また、既存の展示用備品の見直しをするとともに、展示内容を工夫し来館者の増加につなげる。</p>	<p>改革・改善による期待成果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			○	低下			○
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持			○																			
	低下			○																			

<p>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 ■ 継続 (■ 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)</p> <p>改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)</p> <p>今後、繊細な取り扱いが必要な重要文化財の展示が可能となる展示什器を導入し、特別展の充実を図って、来館者の増につなげる。</p>
--

<p>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)</p>

<p>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)</p>
--

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	6	日	
事務事業名	文化財保護対策事業				事業類型	調査	点検日		年		月	
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり										
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る										
	基本事業名	1 歴史資産の保護・保存と活用										
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	05	事業名	文化財保護対策事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要												
【全体概要】						【業務内容】						
・国民共有の財産である文化財に対して、重要性の啓発、保護意識の高揚及び愛護思想の普及啓発を図るとともに文化財の指定等について協議推進する。 ・文化財保護審議会は文化財の保存活用について、調査審査し教育委員会に建議する。						・文化財保護審議会開催・資史料等の整理・復元・保存及び調査研究・照会等による埋蔵文化財の保護指導・試掘調査・埋蔵文化財の発掘調査・記録						

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
文化財、民俗資料 市民	保護すべき文化財、資史料数	点	1564.	1632.	1640.	1650.	1660.	
	那珂市の人口	人	53976.	53795.	53300.	53000.	52800.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
文化財保護審議会開催 文化財資料等の調査研究	文化財保護審査会の開催日数	回	1.	2.	2.	2.	2.	
	発掘・試掘調査件数	件	12.	6.	7.	7.	7.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
文化財としての資史料を発掘するとともに、保護保存を図り次世代へ継承する。	文化財指定数	件	84.	84.	85.	87.	88.	
	指定文化財を知っている人の割合	%	66.9	64.3	70.	72.	74.	
	文化財等が活用されていると思う市民の割合	%	53.19	41.92	50.	70.	75.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,018	860	3,222	4,158	4,158	0
	事業費計(A)	千円	2,018	860	3,222	4,158	4,158	0
人件費計(B)	千円	2,350	1,549	1,549	1,549	1,549		
		0.49人	0.37人	0.37人	0.37人	0.37人		
投入量(A)+(B)	千円	4,368	2,409	4,771	5,707	5,707		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	市文化財保護条例に基づき、市内に存在する文化的価値が高い文化財について、保存・活用に関する重要事項を計画的に調査審議し保存するため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	事業の推進により、指定文化財数の増加や史跡をはじめ文化財の保護活用についての関心が高まっている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	身近にある文化財への関心が高まった。埋蔵文化財の保護について、理解を深めるようにPRが必要ではないか。文化財保護行政にもっとも力を入れるべきではないか。							

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 継続して関係課の開発情報等を把握し、文化財の適正な維持保存に努める。 (見直し内容に関する予算への反映) <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減(事業費)</td> <td style="border: 1px dashed black; width: 50px; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加(事業費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減(事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加(事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減(事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input type="checkbox"/> 増加(事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的・妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市内の貴重な埋蔵文化財の保護は、公共が行う義務的業務である。先人の残した文化遺産は国家国民の貴重な財産であり、これを保護することは行政の責務でもある。
有効性評価	② 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 関係課の開発情報等を共有することにより、常に把握出来ている。県文化課指導により「埋蔵文化財専門員」を平成24年度から配置しており、迅速・的確な保護活用が図られている。
	③ 類似事業との統廃合余地(廃止・休止の可能性)	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。 休止・廃止は、貴重な財産である文化遺産、文化財を喪失する恐れがあるとともに、指定文化財の維持管理に支障をきたす。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 文化財の保護及び普及啓発費用であり、最低限の予算計上となっている。文化財の内容にもよるが、保護には特殊技術を要することが多く、経費が高額となる傾向にある。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 文化遺産・文化財は、市のものであり市民のものでもあるため、特定の受益者はいない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善			※担当課長、グループ長、担当者が記載													
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																		
<input type="checkbox"/> 公平性の改善																				
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○	X	低下		X	X
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		○	X																	
低下		X	X																	
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 今後も文化的・歴史的価値の高い文化財について適切な保存・管理に努めていく。																				
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																				
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																				

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	6	日	
事務事業名	額田城跡整備事業				事業類型	維持管理	点検日		年		月	
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり										
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る										
	基本事業名	1 歴史資産の保護・保存と活用										
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	05	事業名	額田城跡整備事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要												
【全体概要】 額田城跡指定範囲(文化財)を後世に伝えるための整備、管理及び保存をすることにより地域の活性化に活用していくために、年次計画に基づき地域の管理組合に委託する。額田城跡の現状維持、保存に努める。						【業務内容】 額田城跡保存管理計画(第2期)に基づく整備・管理(平成29年度から令和3年度) 額田城跡整備・管理委託 ①遊歩道・進入路整備、看板整備等 ②草払・倒木処理・間伐等						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
額田城跡、市民、市外来訪者	市民	人	53976.	53795.	53300.	53000.	52800.
	額田城跡計画面積	ha	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
額田城跡整備工事 額田城跡保存会に関する管理委託 草払・倒木処理・間伐等	保存会の年間整備活動日数	回	40.	40.	40.	40.	40.
	整備工事発注件数	件	0.	1.	1.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
額田城跡を保存管理し次世代へ継承する。文化財が広く市民に親しまれ、歴史と文化の理解の促進を図る。	整備活動人数	人	1050.	1050.	1050.	1050.	0.
	文化財等が活用されていると思う市民の割合	%	53.19	41.92	50.	70.	75.
	用地取得率	%	0.	0.	80.	100.	100.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	14,000	0	0
	一般財源	千円	753	5,996	1,599	1,424	1,424
	事業費計(A)	千円	753	5,996	15,599	1,424	1,424
人件費計(B)	千円	1,950	2,336	2,336	2,336	2,336	
		0.28人	0.32人	0.32人	0.32人	0.32人	
投入量(A)+(B)	千円	2,703	8,332	17,935	3,760	3,760	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	額田城跡の早期の整備や保存を求める市民からの要望があり、平成10年に額田城跡を市文化財に指定した。その後、地元市民が中心になり額田城跡保存会を設立し活動を開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	額田城跡保存会の会員や地権者が高齢となり、今後の活動について若い世代に継承することが望まれている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	自然を利用した公園や城郭を整備し、「市民の憩いの場」としてほしい意見が寄せられている。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	<input type="checkbox"/> 終了	(見直し内容に関する予算への反映)
		<input type="checkbox"/> 廃止	
		<input type="checkbox"/> 休止	
		<input type="checkbox"/> 統廃合	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 地元の保存会や地域と市が協働により保存管理を実施している。 用地の公有化に向け、準備を進めている。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black;">0</td></tr></table> 千円	0
0			
<input type="checkbox"/> 現状維持		(人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black;">0</td></tr></table> 千円	0
0			
	<input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black;">0</td></tr></table> 千円	0	
0			
	(人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black;">0</td></tr></table> 千円	0	
0			
		<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	

2 評価の部(SEE)*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 貴重な文化遺産である額田城跡の整備・維持管理は公共性が高い。また、史跡面積が7.7haあることから、市民団体や地域だけでは負担が重過ぎるため、市の支援が必要である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状とおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 額田城跡を歴史的天然公園として、保存・整備することにより、歴史的資産や文化財に親しむことは、重要であると考えられる市民を増やすことができる。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。 貴重な文化財保護のため、また、保存のために尽力している地域住民のためにも廃止すべきではない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 本事業にかかる経費は最低限で実施しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ <input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 指定区域内の土地は、地権者の協力により一部無償借地している。また、維持作業も多くのボランティアで成り立っている。そのような現状から、来訪者から負担金をとるような城跡ではない。

3 計画の部(PPLAN)																			
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○	維持				低下			
成果	コスト																		
	削減		維持	増加															
	向上		○																
維持																			
低下																			
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 保存管理計画が順調に遂行するよう、まず用地の公有化については最優先で進める必要がある。																			
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																			
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																			

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	6	日
事務事業名	市史編さん事務費				事業類型	事業の推進					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る									
	基本事業名	1 歴史資産の保護・保存と活用									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	06	事業名	市史編さん事務費	根拠法令	那珂市市史編さん委員会及び 専門委員設置規則
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 戦後70年が経過し歴史的にも風化・散逸していく資料について、収集・調査をすることになり、本市の発展過程を歴史的に明らかにし、市民の郷土愛を高揚する。また、市の将来の発展に資することを目的に、那珂市史編さん委員会及び専門委員会を置く。						【業務内容】 貴重な遺跡等の文化財や、先人たちを広く市民に公開する。「中世那珂台地の領主」を刊行した。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・全市民・市外訪問者(観光客)・郷土史研究者等・ 長い歴史の中で生まれ、伝えられた史・資料	那珂市の人口	人	53976.	53795.	53300.	53000.	52800.
	考古及び史・資料	点	5300.	6000.	6200.	6400.	6600.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市史編さん委員会を開催し、考古資料の解説や調査をしていく。	市史編さん委員会開催回数	回	3.	3.	3.	3.	3.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民に歴史的事実を明らかにし、歴史的記録を後世に記録し残す。	調査・解説できた考古・史・資料数	点	3500.	3500.	3500.	3500.	3500.
	市史等頒布数	冊	204.	362.	220.	220.	220.
	文化財等が活用されている と思う市民の割合	%	53.19	41.92	50.	70.	75.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	214	186	76	0	0
	一般財源	千円	373	901	0	1,270	3,454
	事業費計(A)	千円	587	1,087	76	1,270	3,454
人件費計(B)	千円	528	627	627	627	627	0.09人
投入量(A)+(B)	千円	1,115	1,714	703	1,897	4,081	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	那珂市内に存在する歴史的・文化的遺産を発掘し、先人の業績を学び発展に寄与するとともに、それらを後世に伝承するため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	多くの市民の理解を得て、文化財保存への関心が高まっている。また、編さん事業の成果に基づいた生涯学習講座等においても希望者は増加している。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・あまり目立たないが、時間のかかる貴重な事業であるため、粘り強く取り組んで欲しい。・事業の内容をさらによりわかるようにPRして欲しい。・那珂市の歴史をもっと簡単にまとめたものも欲しい。						

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート				作成日	令和元	年	6	月	6	日
事務事業名	城館跡調査事業					事業類型	調査					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館	歴史民俗G	記入者氏名	鈴木 正寿								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業				
	施策名	5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る										
	基本事業名	1 歴史資産の保護・保存と活用										
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	05	事業名	城館跡調査事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成26年度～平成30年度)			
事業概要												
【全体概要】 那珂市城館跡調査事業を行い、地域の活性化と文化財を後世に継承する。						【業務内容】 茨城大学に委託し、那珂市城館跡調査事業を行う。						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市内の城館跡数	市内の城館跡数	件	48.	48.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市内の城館跡を踏査し、記録に残す。	調査件数	件	10.	8.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
開発等で破壊される前に城館跡を調査・記録する。	記録として保存した数	件	10.	8.	0.	0.	0.
	調査保存が完了した割合	%	77.	100.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	756	756	0	0	3,796
	事業費計(A)	千円	756	756	0	0	3,796
	人件費計(B)	千円	520	584	0	0	0
投入量(A)+(B)	千円	1,276	1,340	0	0	0	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	これまで開発されずに平地林となっていることから城館跡が保存されてきました。しかし、近年は開発がその地域にまで及びつつあるので、現況を調査する。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	住宅地と開発が進行する前にこれら城館の縄張り図を作成して往時の姿および一端を残していくこととした。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	貴重な歴史遺産を開発される前に調査・記録すべきとの声がある。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	計画通りに進め、本年度終了した。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="text" value="0"/> 千円 (人件費) <input type="text" value="0"/> 千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="text" value="0"/> 千円 (人件費) <input type="text" value="0"/> 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE)*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である 市内の貴重な城館跡は、公共が行う義務的業務である。 先人の残した文化遺産は貴重な財産であり、これを調査することは行政の責務である。 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■ 余地がない 計画通り進められ、完了となった。 <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない ■ 廃止・休止の可能性がない 類似事業はない。 この事業を廃止・休止することにより、調査記録する前に破壊されてしまう恐れがあった。 <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削除余地がない ■ 人件費の削除余地がない 本事業に係る経費は最低限で実施しているため、削減の余地はなかった。 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない(負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？)	<input type="checkbox"/> 適正である ■ 受益者負担を求める事業ではない 文化財遺跡の地表調査であり、受益者負担を求める事業ではない。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善																					
<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 計画通りに進められ、完了となった。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td align="center">○</td> <td align="center">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> <td align="center">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下	×	×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下	×	×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																					
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 順調に事業が進行してきた。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成30 年度	事務事業評価シート			作成日	令和元 年	6 月	5 日
事務事業名	図書館管理事業				事業類型	施設の維持管理		
担当部課G等	教育委員会 図書館	図書館管理G	記入者氏名	澤幡 正輝				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名	3 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える						
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実						
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 07	事業名 図書館管理事業	根拠法令	図書館法、那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例、那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 生涯学習の拠点として、また情報の集積・発信基地としての図書館を市民が快適に利用できるように維持管理する。					【業務内容】 主な業務は施設の維持管理委託。 事業費は光熱水費、各種設備保守点検や修繕費、施設管理委託費等に支出。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
図書館	施設の延床面積	m ²	3609.69	3609.69	3609.69	3609.69	3609.69
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
施設の維持管理	施設の修繕件数	件	14.	9.	14.	14.	14.
	施設管理の委託件数	件	4.	4.	4.	4.	4.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
図書館利用者が安全で快適に図書館の施設を利用できるように環境の整備をする。	施設に関する苦情件数	件	4.	4.	4.	4.	4.
	来館者数	人	257534.	259396.	265000.	270000.	275000.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	12,550	8,762	11,300	11,300	11,300
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	591	8,401	397	397	397
	一般財源	千円	11,257	9,210	10,408	16,493	8,858
	事業費計(A)	千円	24,398	26,373	22,105	28,190	20,555
人件費計(B)	千円	8,100	8,590	8,590	8,590	8,590	1.30人
		1.30人	1.30人	1.30人	1.30人	1.30人	
投入量(A)+(B)	千円	32,498	34,963	30,695	36,780	29,145	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	市民からの強い要望と生涯学習の場として整備する必要があることから、平成18年那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例により図書館を設置。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	耐用年数による設備等の交換やオーバーホールなどがあり修繕件数は増加傾向にある。また、省電力化によりLED照明に移行する時期に来ている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	図書館利用者から、安全で快適な施設の維持管理が求められている。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 総合施設管理業務委託先の業者と協議をし、今後必要なメンテナンス計画を行った。指定管理者制度の導入については検討した結果、導入しないことを教育委員会定例会にて議決した。 (見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の施設であり、利用者の快適な空間を維持するため、市の管理が妥当である。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 図書館施設・設備は、一括して業者委託をしており、修繕が必要なものは随時対応している。また、耐用年数による部品交換、修繕等については計画的に実施し、常に良好な状態を保てるよう管理している。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく統廃合の余地はない。また、地域の課題解決の場、生涯学習の拠点となる施設であるため、廃止・休止の可能性もない。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 節電に取り組むことで、光熱費の削減の余地がある。業務委託等および指定管理者制度を導入した場合には、人件費の削減の余地があるが、教育委員会定例会で導入の方向性は否決された。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求め事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 図書館法17条に基づき、受益者負担を求めることはできない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 節電等による光熱水費の抑制をしつつ、利用者にとって最良の状態を維持できる施設管理に努める。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	×	×	低下	×	×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○	×	×																		
	低下	×	×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 節電による一時的な光熱水費の削減余地はあるが、将来的な施設の老朽化に備え、今後も計画的な修繕の必要がある。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	1	日
事務事業名	図書館運営事業				事業類型	施設の運営					
担当部課G等	教育委員会 図書館	図書館管理G	記入者氏名	寺門 征信							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	3 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える									
	基本事業名	1 生涯学習環境の充実									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	07	事業名	図書館運営事業	根拠法令	図書館法、那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例、那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 生涯学習の拠点として、また、情報の集積・発信基地として、より多くの市民が利用できるように図書館を運営する。						【業務内容】 主な業務は、図書館資料の選定購入、図書館まつり等の企画、図書館システムの保守など。 事業費は、報酬、賃金、システム賃借料、資料の購入費等へ支出。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民	人口	人	55312.	53795.	53436.	53000.	52800.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
図書館システムの維持管理、図書館資料の選定・購入等を行い、閲覧・貸出をする	開館日数	日	288.	289.	288.	288.	288.
	購入資料数	点	7783.	7660.	8000.	8000.	8000.
	図書館資料数	点	200219.	209378.	220000.	230000.	240000.
	イベント主催数	回	11.	10.	12.	13.	14.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
多くの市民に自学自習の場を提供することにより、生涯学習への意識向上を図る。	登録者数	人	36459.	37756.	39500.	41000.	42500.
	貸出資料数	点	459191.	443054.	506000.	518000.	530000.
	一人当たりの貸出資料数	点	12.59	11.73	12.	12.5	13.
	来館者数	人	257534.	259396.	265000.	270000.	275000.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	21,538	24,022	21,000	21,000	21,000
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	3,487	1,679	50	50	50
	一般財源	千円	45,593	45,474	48,919	50,563	50,563
	事業費計(A)	千円	70,618	71,175	69,969	71,613	71,613
人件費計(B)	千円	14,510	14,260	14,260	14,260	14,260	2,200
		2.20人	2.20人	2.20人	2.20人	2.20人	
投入量(A)+(B)	千円	85,128	85,435	84,229	85,873	85,873	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	那珂市立図書館の開館に伴う事業						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	平成18年10月に開館、所蔵資料も増加し市民の生涯学習の拠点としてなくてはならない施設である						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の利用者を増加させる取り組みや学校との連携の要望が寄せられている(図書館協議会委員、学校司書) ・らぼーる図書室の資源を市立図書館に集中した方がより充実した図書館サービスになる(定期監査意見書) 						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)															
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	図書資料の充実をめざし整備を継続した。イベントについては菅谷まちづくり委員会をはじめとして諸団体と積極的に開催した。指定管理者制度の導入については検討した結果、導入しないことを教育委員会定例会にて議決した。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE)*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではないですか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民の自主的な学習活動の場として設けられた施設であり、市民の要求に応じられる資料の充実・確保を図るとともに公共性を重視した良質な情報提供・情報発信を行ううえで市の関与は妥当である。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 図書館資料(書籍、CD、DVD)所蔵数を増やしていくとともに、地域と連携した魅力あるイベント等を実施し、新規利用者を呼び込む余地がある。また、各種団体に団体貸出を推奨することによる図書館資料の活用余地がある。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はないので、統廃合の余地はない。生涯学習の拠点となる施設であり、同様の施設がないため、廃止・休止の可能性もない。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 図書館システム貸借の更新時に、質を下げずに貸借料の削減が可能か検討する。指定管理者制度を導入した場合、人件費削減の余地があるがH30年度に導入しない方向が出された。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 図書館法第17条に基づき、図書館の利用において受益者負担を求めることはできない。例外として、相互貸借及び団体貸出に係る郵送料が発生した場合には、受益者負担の適正化の観点から、郵送料について受益者負担とした。(那珂市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則を改正：平成29年4月1日施行)

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 図書館システムの委託更新時(R3)に賃借料について見直しを検討する。引き続き図書館資料の所蔵数を増やし、利用者の学習意欲に応えられる環境づくりを行っていく。菅谷まちづくり委員会をはじめとして諸団体・ボランティアと連携したイベントを積極的にを行い、利用者の拡大を図る。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			⊗	低下			⊗
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			⊗																		
	低下			⊗																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 今後も利用者のニーズにあった図書資料の充実にも努めるとともに、図書館の利用促進のため、他団体との共催イベントなどを積極的に開催していく。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						